



道事業決算

収益的収入および支出	平成27年度	平成26年度
水道事業収益	306,592,498 円	310,099,762 円
水道事業費用	287,929,852 円	288,697,052 円
当年度純利益	12,735,482 円	13,551,378 円
当年度未処分利益剰余金	362,990,819 円	350,255,337 円
翌年度繰越利益剰余金	362,990,819 円	350,255,337 円
資本的収入および支出		
資本的収入	58,892,000 円	80,000,000 円
資本的支出	133,934,784 円	158,951,780 円
資本的収支不足額	75,042,784 円	78,951,780 円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額75,042,784円は、当年度分損益勘定留保資金69,115,620円および当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額5,927,164円で補てんした。



下 水道事業決算

収益的収入および支出	平成27年度	平成26年度
下水道事業収益	774,828,903 円	705,062,959 円
下水道事業費用	620,824,402 円	627,069,181 円
当年度純損益	147,945,474 円	70,630,540 円
当年度未処理欠損金	632,124,114 円	780,069,588 円
当年度末不良債務	0 円	0 円
資本的収入および支出		
資本的収入	209,188,357 円	260,460,341 円
資本的支出	517,881,594 円	546,325,593 円
資本的収支不足額	308,693,237 円	285,865,252 円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額308,693,237円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんした。



議会の



6月定例会

議決された 議案

- 議案第53号 平成27年度鶴田町水道事業決算認定について
 - 議案第54号 平成27年度鶴田町下水道事業決算認定について
 - 議案第55号 平成28年度鶴田町一般会計補正予算（第1号）案
 - 議案第56号 平成28年度鶴田町第1財産区特別会計補正予算（第1号）案
 - 議案第57号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるについて
専決第1号 平成27年度鶴田町一般会計補正予算（第5号）
 - 議案第58号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるについて
専決第2号 鶴田町町税条例等の一部を改正する条例
 - 議案第59号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるについて
専決第3号 鶴田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 - 議案第60号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるについて
専決第4号 鶴田町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
 - 議案第61号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるについて
専決第5号 行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例
 - 議案第62号 平成28年度鶴田町一般会計補正予算（第2号）案
- 報告第1号 平成27年度鶴田町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

概要 6月定例会

平成28年第2回鶴田町議会定例会が、6月2日から9日まで会期8日間で開かれました。今定例会では、議案10件について審議が行われ、原案どおり議決（認定2件、可決3件、承認5件）されました。また、水道、下水道の公営企業会計決算が認定されましたので、平成27年度の水道事業決算、下水道事業決算について、概要を紹介します。

質問一般

6月定例会一般質問の要旨をお知らせします

稻作農家は現在、米価の下落により経営難が続いているところであります。しかし、国はTPPを進めており米価はさらに下落することも予想されます。

また、国は喫緊の対策として、飼料米の作付拡大や作業経費削減のために大規模農家への集積を進めていますが、思うように進んでいないのが現状です。

そこで、鶴田町全体の米価高値ピーク時の収入額と昨年の米価収入額では金額にするとどれくらいの差になるかお伺いします。

また、このことに対して、鶴田町として稻作農家の経営安定につながるどのような対策を取つていいかお伺いします。

答弁④町長



経営所得安定対策への取り組みを進めさせております。米の生産目標を達成した販売農家に交付される「米の直接支払交付金」をはじめ、転作作物の生産・出荷を行つた農家に交付される「水田活用の直接支払交付金」や「產地交付金」などにより、平成27年産では3億200万円弱が交付されておりま

また、町単独事業として、特産果樹を新植した際の助成のほか、水田転作に導入しやすいリンドウやアスパラガスを作付けした際の初期投資に対応する助成を行つております。

い。

1) 各地域の住民説明会を経て、
住民からはどのような意見が出た
のか。参加人数はどのくらいなの
か、地区別に示してほしい。

2) 統合小学校建設関係課連絡会
議は、すでに設置され具体的な検
討に入っているのか。

3) 新小学校の建設に向けた具体
的なスケジュールを示してほしい

②観光振興について

次に、観光振興についてのご質問であります。が、津軽富士見湖周辺の施設の維持管理は、町職員2名が丹頂鶴の飼育をしながら周辺の草刈りなど管理に当たつておられ、そのほかに堤防の草刈りはじめ、芝生の管理や樹木等の剪定トイレの清掃などは業者等に委託しております。なお時折、お客様からのご指摘がございますので、その都度改善に努めております。一年を通した観光についてであ

地財源等について検討しております。
建設に向けた具体的なスケジュールにつきましては、詳細な検討を重ね、具体的な建設計画を作成してまいります。将来を担う子どもたちの充実した教育環境を整えるために、一日も早い開校を目指してまいります。

答弁=町長
統合小学校建設関係課連絡会議につきましては、統合小学校の建設について役場内で検討するため、関係課の課長級、班長級の職員11名で組織し、1月20日に第1回目の会議を開催しております。1回目の会議では、担当事務の確認、今後のスケジュールなどについて協議しております。第2回目は、4月11日に開催し、建設候補

オートキャンプ場を設置する構想はないのか。

広報つるた No.670



△昨年10月に富士見湖パークで行われた台湾ドラマのロケの様子

苗議員のお話にもありましたように、JR東日本では、鶴の舞橋を「行くぜ、東北」シリーズのポスターに採用し、昨年の夏に東京支社管内の主要駅に掲示したほか、今年の5月9日から約2週間にわたって上野駅に大型フラッグにしておりました。また、女優の吉永小百合さんが出演する大人の休日俱楽部のテレビコマーシャルにも採用され、6月中旬から放映される予定でありますので、さらに多くのお客様がお越しになるものと思われます。

鶴の舞橋や丹頂鶴については、年間を通して四季折々の美しい姿を楽しんでいただけるようにしてまいりたいと考えております。キャンプ場、オートキャンプ場の設置についてですが、富士見湖パークに設置する構想については、現時点ではございません。園内の利用状況、園内敷地や駐車場の面積を考えますと、キャンプ場のスペースを確保するために

あります。昨年、台湾の高視聴率ドラマのロケ地となり、ドラマが放映されたこともあり、今年に入つてからは外国人のグループも来園しています。さらには、時

間、昨年の夏に、JR東日本が主催する旅行者のニーズがどのくらいあるか、また、県内や近隣のキャンプ施設がどのような稼働状況になつているのかなど、調べてみたいと思います。

観光部門の独立につきましては、以前にも一戸豊議員から提言を受けておりましたが、津軽富士見湖祭りやつるたまつり等のイベントの開催、鶴の舞橋を中心とした富士見湖パークへの観光客の対応、JR東日本の北海道新幹線ディステイネーションキャンペーンや五能線沿線地域の広域観光、弘前市や五所川原市を中心とした津軽地域の広域観光、さらには台湾や中国、韓国などアジア地域からの観光客の増加への対応など、観光行政の果たす役割は重要性を増す一方です。

また、国においても観光庁が観光立国の実現に向けて、取り組みを強化しております。そのため、町でも観光行政をより強力に進めていくため、組織のあり方について検討するよう指示をしてございます。平成29年度に向けて組織改革を実施し、より実効性のある組織としたいと考えております。

答弁=教育長

学区再編に関する住民説明会は、町内6地区で5月23日から5月31日まで行いました。今回の説明会は、「鶴田町立小学校学区再編基本方針」の「町内小学校を1校に統合し、全町1学区制にする」という方針である「町内小学校を1校に統合し、全町1学区制にする」ことについて、ご理解をいたしました。また、参加人数につきましては、梅沢小学校が26人、鶴田小学校区が17人、富士見小学校区が9人、胡桃館小学校区が20人、菖蒲川小学校区が15人、水元中央小学校区が11人の計98人でございました。

ことについての説明を行つたものです。まず、梅沢小学校区からは、「スクールバスはどのようになるのでしょうか」「サンシャインスクールはどうなりますか」という質問があり、鶴田小学区からは「建設場所はどこですか」という質問がありました。富士見小学区からは、「今後のスケジュールはどうなっていますか」「建設まであと何年かかるのでしょうか」という質問があり、胡桃館小学区からは、「通学距離4kmについて」「1校でなくとも2校でも3校でもよいのではないか」「いつ頃建設するのでしょうか」という質問があり、水元中央小学校区からは「建設場所はどこになるのでしょうか」という質問がありました。菖蒲川小学区からは、「いつ頃建設するのでしょうか」という質問があり、水元中央小学校区からは「建設場所はどこになるのでしょうか」「特別支援学級はどうなるのでしょうか」「保育所や幼稚園と小学校との関係はどうなりますか」などの質問がありました。以上のように、統合小学校の建設場所や建設時期などについて多くの質問が寄せられましたが、基本方針である「町内小学校を1校に統合し、全町1学区制にする」ことについては、ご理解をいたしました。また、参加人数につきましては、人口減少は、国レベルで進んでおり、昨年度の国勢調査では、調査開始以来初めて日本の総人口が減少に転じております。当町の人口も速報値で1万3400人となり、5年前の調査に比べて870人、6・1%の減少となつております。

答弁=町長

学区再編のその後の方向性と町内各地区的説明会における結果について問う。

③町立小学校の規模と配置の問題について

鶴田町農村環境改善センター「豊明館」の管理と活用状況を問う。

①まち・ひと・しごと創生総合戦略について

所属会派
政和会

神秀次郎議員



△JR Land奥鶴田駅舎内に掲示されているポスター

は、みどり町内にある公園を共有の雪置き場に活用したり、除雪等の回数を増やすなどして対応しておりますが、今後も除雪等の工夫をするなど克雪対策に努めてまいりたいと考えております。

また、高齢者等の生活弱者に対する除雪支援につきましては、地域の支え合い支援体制の構築を図りながら、町内会へ貸与している除雪機械の活用や除雪ボランティアの確保等の促進を図りながら、今後とも生活環境の向上に努めてまいります。

次に町の観光につきましては、水源の確保や排水ルートと年末等の処理能力の確認、さらに個人や団体、企業で利用している地下への影響地盤沈下等のことも考慮しながら検討する必要があります。

みどり町内の道路の総延長は約3kmあることから融雪溝の設置延長は約6km以上となり、送水管や中継ポンプ、地下埋設物の処理費用などを含めますと、概算で約8億円を越える事業費が見込まれます。このことから、町の財政運営計画との整合性を図りながら検討をしてまいりたいと考えております。

雪対策として平成27年度から

また、近隣市町村で構成する広域観光の協議会などでも活動を開しておりますので、関係機関とも連動しながら、今後のプロモーションなどにも力を入れ、鶴の舞橋へのさらなる誘客はもちろんあります。道の駅つるたや観光施設等への誘導も図つてまいりたいと考えております。

ご質問の宿泊施設の充実についてであります。鶴田町の宿泊施

設は、つがる富士見荘、鶴田温泉旅館、山田温泉、民宿梅沢温泉の4施設で、全て民間が経営をしております。町では、観光ウェブマガジン「メデタイツルタ」に掲載し情報発信に努めています。それぞれに特徴のある温泉がありますので、温泉好きなお客様にはぜひ宿泊していただきたいと思っております。

また、高齢者等の生活弱者に対する除雪支援につきましては、地域の支え合い支援体制の構築を図りながら、町内会へ貸与している除雪機械の活用や除雪ボランティアの確保等の促進を図りながら、今後とも生活環境の向上に努めてまいります。

施設の充実については、お客様のニーズも考え、それぞれの経営事情に合わせて対応されているものと思いますので、日本人の献身的な精神である「おもてなし」の心をもって、目配り、気配り、心配りをし、お客様に満足感を抱いていただき、リピーターを増やしていくことを思っています。ただ、リピーターを増やすには、設備は、つがる富士見荘、鶴田温泉旅館、山田温泉、民宿梅沢温泉の4施設で、全て民間が経営をしております。町では、観光ウェブマガジン「メデタイツルタ」に掲載し情報発信に努めています。それぞれに特徴のある温泉がありますので、温泉好きなお客様にはぜひ宿泊していただきたいと思っております。

設は、つがる富士見荘、鶴田温泉旅館、山田温泉、民宿梅沢温泉の4施設で、全て民間が経営をしております。町では、観光ウェブマガジン「メデタイツルタ」に掲載し情報発信に努めています。それぞれに特徴のある温泉がありますので、温泉好きなお客様にはぜひ宿泊していただきたいと思っております。

努力することが必要だと考えます
がいかがでしょうか。

その後の経過についてお知らせください。

②熊本地震や東日本大震災の教訓を基にした災害時に相互応援できる体制作りの強化について

当町は姉妹都市鹿児島県さつま町と災害時相互応援協定を結んでおりますが、災害が発生した際、遠距離のため、人的支援や必要な品の早期供給など、緊急対応する事が難しいこともあります。そのため、県内の太平洋側や秋田県など東北地方の市町村とも災害時相互応援協定を結ぶ必要があると考えます

答弁=町長

町が行う売買、貸借、請負その他契約の締結につきましては、地方自治法ならびに同法施行令で規定されております。その中で、指名競争入札に参加する者については、「工事または製造の請負、物件の買入れその他当該普通地方公共団体の長が定める契約についてあらかじめ、契約の種類及び金額に応じ、工事、製造または販売等の実績、従業員の数、資本の額その他の経営の規模及び状況を要件とする資格を定める」と規定されています。

当町では、「鶴田町建設工事の指名競争入札に参加する者の資格等に関する規則」を制定し、参加資格等について定めております。これらに基づき、公共事業の発注や物品等の購入につきましては、契約の種類および金額に応じた資格を有する者の中から指名業者を選定し、入札を行つております。

小関 優 議員

所属会派 政優会

③約230万円の予算を使用し、歴史文化伝承館（旧水元小学校）に展示室を作ることについて

前回定例会（平成28年第1回）の議案審議において、「歴史文化伝承館については、小手先の改修工事ではなく、町民や有識者による活用方法の抜本的な見直しが必要である」と提言させていただきました。その回答として、教育次長は、「外部の方々の意見等も事業を進めながらではあります、しっかりと耳を傾けてまちづくりに反映できるように努めていきました。」と話していました。

鶴田町の活性化や地元業者育成のため、公共事業の発注や物品等の購入について、鶴田町の業者が今まで以上に優先的に受注できるようになります。このことから、町の財政運営計画との整合性を図りながら検討をしてまいりたいと考えております。

鶴田町の業者が受注できるようにしてはいかがでしょうか。また、下請業者（協力業者）についても、その後の経過についてお知らせください。

区が物資などの提供を行うことに
次に、災害時の相互応援協定についてであります。青森県内では全市町村で「大規模災害時の青森県市町村相互応援に関する協定」を締結しており、大規模災害時には被災地区に対して、応援地

内業者の受注機会の確保に努めてまいります。

また、受注した業者の下請けにつきましては、あくまでも元請け業者が決定するものであり、発注者である町が指示できるという性質のものではありませんが、町内業者の受注機会の確保の観点から、元請け業者への協力要請に努めてまいります。

答弁=教育長

「外部の方々の意見等も事業進めながらではあります、しっかりと耳を傾けてまちづくりに反映できるように努めています」と答弁した後の経過に

ます。また、消防の応援体制につきましては、県内の全市町村と全消防事務組合で「青森県消防相互応援協定」を締結し、相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することとしております。

さらに、県内の消防力で対応が困難な場合には、消防庁長官の指示により、全国から緊急消防援助隊が派遣されることとなつており、地域を越えた消火・救助活動を行うこととなつております。

他県の市町村との協定につきましては、付き合いや交流がある市町村同士が交流を深める中で、協定を締結するのが一般的であり、当町では鹿児島県さつま町と「災害時相互応援協定」を締結しております。さつま町とは遠距離であるがゆえに、同時に被災することがないメリットを活かすために協定を締結したもので



△鹿児島県さつま町との災害時相互応援協定締結式

なっております。
また、消防の応援体制につきましては、県内の全市町村と全消防事務組合で「青森県消防相互応援協定」を締結し、相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することとしております。

さらに、県内の消防力で対応が困難な場合には、消防庁長官の指示により、全国から緊急消防援助隊が派遣されることとなつており、地域を越えた消火・救助活動を行うこととなつております。

他県の市町村との協定につきましては、付き合いや交流がある市町村同士が交流を深める中で、協定を締結するのが一般的であり、当町では鹿児島県さつま町と「災害時相互応援協定」を締結しております。さつま町とは遠距離であるがゆえに、同時に被災することがないメリットを活かすために協定を締結したもので



△昨年10月に鶴田町歴史文化伝承館で開催された「ふるさとアート体験フェア」

【有料広告】

地面の雪を溶かす【ロードヒーター】

地面へ温水パイプや電気ヒーター(ヒートポンプ・ボイラー)を埋設し雪を溶かします。

ヒロデンのロードヒーターが高品質な理由

- ・配管やヒーターを地中接続せず、一本物を使用
- ・線径5.0mmの太いワイヤーメッシュとコンクリートスレーベーを使用し、コンクリートは二度に分けず一度で打設することで長寿命、溶け込み防止
- ・配管・ヒーターの設計・施工を自社で行う為低価格

屋根の雪を溶かす【ルーフヒーター】

屋根トタンの下や上部ヒーターを設置し、雪や氷を溶かします。

弊社では北海道の技術を応用し、青森県の温つて重い雪を溶かす工法を確立しました。その為、多種多様なヒーターと工法を取り扱っており、屋根の形状に応じた融雪ブランケットを提案し、無駄を省くことで工事費やランニングコストを抑えてあります。高所作業車を使用するため足場費が不要です。

Free 0120-14-0343 5年保証・お見積り無料 ■ヒロデン株式会社

8月は「電気使用安全月間」です

夏は肌の露出が多くなり汗もかくことから、電気が流れやすくなります。また、暑さにより注意力が散漫になりがちなため、感電事故が多くの傾向があります。経済産業省では、毎年8月を「電気使用安全月間」と定め、電気使用安全運動が全国一齊に行われています。電気安全に心がけましょう。

